

公開シンポジウム 結婚と家族の接点 『人口問題研究』200号記念の開催

厚生省人口問題研究所は、7月5日（金）、中央合同庁舎5号館第6会議室において公開シンポジウムを開催した。当研究所は、昭和14年8月25日に設立された研究機関であるが、翌年の4月に『人口問題研究』の創刊号を刊行している。この機関誌が今年の10月に200号を迎えることになる。今回の公開シンポジウムは、これを記念して開催されたものである。

公開シンポジウムのテーマは、「結婚と家族の接点」とした。このテーマは、昨今、とりざたされている出生力低下の問題が結婚と家族の変化と深くかかわっているとの認識の下に、その相互関連を人口学的に分析することを目的として開かれた。シンポジウムは、当研究所の研究員による報告と森岡清美（成城大学教授・家族社会学）、利谷信義（東京大学社会科学研究所長・法社会学、家族法）をお迎えしての討論とをまじえて行われた。

（清水浩昭記）

人口問題審議会の委員の異動と第52回総会

人口問題審議会（厚生省）の委員は、このほど任期（2年）満了に伴う異動が行われたが、新しい構成メンバー（委員・専門委員）は次掲のとおりである。なお、新しいメンバーによる初の総会（平成3年7月12日開催）において、委員互選の結果、会長に山本正淑氏、会長代理に宮澤健一氏がそれぞれ選出された。

○人口問題審議会委員

（氏名）	（現職）
石井須美	三和電気工業（株）取締役会長
伊藤善市	東京女子大学文理学部教授
伊部英男	年金総合研究センター理事長
大石泰彦	東京大学経済学部名誉教授
大熊由紀子	朝日新聞社論説委員
岡崎陽一	日本大学法学部教授
尾崎美千生	毎日新聞社人口問題調査会事務局長
小澤雅子	東京工業大学工学部助教授
加藤寛	慶応義塾大学経済学部教授
木村治美	共立女子大学教授
日下公人	（社）ソフト化経済センター事務理事
河野稠果	人口問題研究所長
小谷直道	読売新聞社論説委員
小林登	国立小児病院院長
坂元正一	日本母性保護医協会会長
佐々波秀彦	国連地域開発センター所長
鈴木永二	三菱化成工業（株）相談役
袖井孝子	お茶の水女子大学助教授
高島隆平	朝日生命保険相互会社代表取締役会長
千葉一男	王子製紙（株）代表取締役社長
土居健郎	聖路加国際病院診療顧問
羽田春兔	日本医師会会長
人見康子	慶応義塾大学法学部教授